

その一冊が、能登へのチケット

13班

要旨

本研究は、新型コロナウイルスや能登半島地震により観光客が激減した七尾市の観光業復興を目的とし、高校生の視点から観光パンフレット作成に取り組んだ。既存の観光パンフレットを分析した結果、「情報の分散」「ターゲット層に応じた情報発信の不足」「アクセスやモデルコースのわかりにくさ」などの課題があった。そこで、20代をターゲットに据え、写真を多用し、視覚的な紙面と最新情報を補うウェブサイトを組み合わせたパンフレットを提案・作成した。保護者や市役所への調査から、食事処や復興状況といった多様な顧客ニーズと日々更新できる仕組みの有効性を確認した。今後は試作品の改良を重ね、駅等への設置を目指す。異なる立場の人々からの意見を積極的に取り入れ、改良し続けることが地域の魅力を伝える観光パンフレット作成で必要不可欠である。

1.研究背景と目的

七尾には多くの観光地があり、祭りなどのイベントもたいへん多く、観光が盛んな地域であるといえる。しかし、令和元年からの新型コロナウイルスの流行や、令和六年の能登半島地震以降、祭りや観光地へ行ってもこれまでと比べて、能登への観光客を見かける機会が減ったように感じ、「能登の観光客数の推移」というサイトで調べた。そこで、私たちは能登へ観光に来る人が減ってしまったという現状に対し、何かしらの解決策を講じる必要があると考えた。七尾市の観光業の復興という大きな目的に、高校生の私たちでもできることはないかと模索した末に、私たちは七尾市の観光パンフレットに注目した。七尾市の既存の観光パンフレットに対し初めて七尾市を訪れる人にとっては理解しがたいものではないかという印象を受けたために、私たちは既存の七尾市の観光パンフレットの魅力を受け継ぎつつ、多くの写真用いることで見やすさを意識したパンフレットを作ることにした。

2.調査・分析

七尾市が公表している観光客数の推移「七尾市公式サイト」をもとに能登地域の観光客数を調査した。その結果、新型コロナウイルス感染症の流行以降、能登地域への観光客数は感染拡大前と比較して約63.0%減少していることが分かった。さらに、2024年1月に発生した能登半島地震の影響により、観光客数は前年と比較して54.7%減少し、宿泊業や飲食業をはじめとする地域経済にも大きな影響を及ぼしていることが明らかとなった。このことから、七尾市において観光客数の回復を目的として七尾市の情報を発信していくことが重要な課題であると考えた。現在七尾市の観光地ごとのパンフレットはあるものの、観光地やイベント情報が別々のパンフレットに分かれており、七尾市全体としてのパンフレットがないことがわかった。これより七尾市は観光資源は多いものの、情報が分散しているため、他地域の人が市内を効率よく巡ることが難しいと分析した。また、七尾市の観光地別の

パンフレットに関してもターゲット設定が不明確であり、ファミリー層・若者・高齢者など、それぞれに合わせた情報発信ができていない可能性がある。特に若い世代では、旅行先をSNSで検索・比較して決定する人が増えていることから、紙媒体では十分な情報発信ができていないと考えられる。そのため紙媒体とデジタル媒体を組み合わせた情報発信が必要であると判断した。さらに、アクセス情報についても調査したところ、公共交通機関や駐車場に関する案内は掲載されているものの、観光客が効率よく市内を巡るためのモデルコースや移動手段をわかりやすく示した資料が不足していることがわかった。北陸新幹線延伸後は七尾市まで乗り換えが必要となるため、初めて訪れる観光客にとって市内への移動方法がわかりにくく、観光地を巡る際の大きな負担になっていると考えられる。上記の調査・分析から、私たちは、七尾市には豊富な観光資源があるにもかかわらず、「観光情報が複数の媒体に分散していること」「利用者の目的や年齢に応じた情報発信が不足していること」「アクセスやモデルコースに関する情報がわかりにくいこと」という三つの課題があるとわかった。そこで、これらの課題を解決するために、観光地の写真、地図、アクセス情報、モデルコース、QRコードなどを掲載した統一的なパンフレットの作成に取り組むこととした。このパンフレットによって七尾市の魅力をわかりやすく伝え、旅行計画を立てる際の負担を減らすだけでなく、観光客数の増加にもつながることが期待される。

3.解決に向けた提案と実践

七尾市の既存の観光パンフレットを確認していると、私たちがよく知らない観光地が挙げられていることがあった。既存の七尾市の観光パンフレットにある魅力を受け継ぎつつ、より見やすいパンフレットを作るためには私たちが七尾の魅力ある場所を把握している必要があると考え、まずは班員全員で観光地を調べた。その

後、それらの情報をまとめた上で観光パンフレットの作成にあたった。複数のパンフレットで確認された観光地、班員のうちで、七尾市以外に住むメンバーの意見、学年にアンケートを実施し、その解答として多く挙げられた観光地をパンフレットに盛り込んだ。私たちは同じ系統のものをまとめることにより、観光客が自分で選択できる選択型パンフレットの作成を行い試作段階ではあったものの、七尾高校生の保護者の方々に実際に見てもらい数々の貴重なご意見をいただいた。その意見の中には、観光ルートの提案を行うことが観光客を増やすうえで有効であるかもしれないとの声があった。具体的に聞いたところ、観光するときには食事処を最優先で考えているからだそうだ。特に夜であれば、何時までこの食事処が空いているのかなどの情報は、初めて訪れた観光地では必須のものとなるうえに、調べるのも多少手間であるので困るとの回答があった。また、若者向けならば、文字が少なく、写真をふんだんに載せたパンフレットが良いそうだ。これらのご意見から20代にターゲットを絞り、写真をメインにしたパンフレットに改良した。パンフレットに観光地の情報は少なくなるため、QRコードの載せて、観光地の詳しい情報がわかるウェブサイトを作った。また、私たちは、七尾市役所を訪問し、パンフレットに対する意見や七尾市の観光の現状についてインタビューを行った。調査の範疇。七尾市では現在、地震の影響により観光客が減少していることに加え、復旧情報や観光情報が日々更新されているため、パンフレットを作ることが難しいという課題があることがわかった。そのため、QRコードを用いてウェブサイトへ誘導し、最新の情報を日々更新できる仕組みは効果的であるという意見をいただいた。また、市役所では、地震の影響によって現在しか見ることができない景観や復旧の様子も、七尾市の観光資源の一つとして捉え、観光客に再び訪ねてもらおうことを目指していることもわかった。

4. 考察

七尾高校生の保護者の方々に意見をいただいて、わかったこととして、私たち高校生と、大人では観光について焦点を当てる箇所が違うことに気がついた。私たちは、七尾市の観光地の中で、比較的規模が大きいもの、知名度があるものをパンフレットに取り入れるのを当たり前として、そういう固定観念に縛られたパンフレットの作成を行っていた。しかし、いただいた意見の中には、七尾市民しか知らないようなマイナーなところでも本当に伝えたい魅力がある観光地があるのならばそちらのほうがパンフレットとして惹かれるといった意見の他に、子どもがいると朝や昼は遊ばせたいから遊び場の位置がしれたらいいという意見、その他には情報の混雑を避けるために複数のパンフレットがあってもいいのではないかという意見もあった。これらの意見は私たちが考えもしないものばかりであった。私たちに考えてパンフレットを作っていたが、いざ作ってみると、そのパンフレットは大人たちの理想とはかけ離れたものとなってしまった。パンフレットを実際に使う立場である大人からの意見を聞くことが重要であった。自分たちとは別の立場の人に意見を聞かないのでは、そのパンフレットは自分たちが押し付けた形の観光パンフレットとなってしまう。それでは、実際に見る人が魅力を感じられず、不便なものになってしまうので定期的に意見を交換することが観光パンフレット作成にあたって重要であると考えられる。

5. 今後の課題と展望

今後の展望として、まず私たちが作ったパンフレットを市役所の方々からの提供を受けた写真を用いて、パンフレットの試作品を作る予定である。QRコードからアクセスできるウェブサイトの内容を充実させ、モデルコースや各観光地の紹介に加え、地震からの復興の軌跡に関する情報も掲載する予定である。さらに、可能であれば、作成したパンフレットを再度、七尾高校生保護者の方々に提示し、意見を収集する。初回の調査結果と比較することで、指摘内容や評価の変化を把握し、その結果を基にパンフレットの改良を

行いたい。また、本当に観光パンフレットが魅力的になったかどうかを同様の場で既存のパンフレットと合わせて見せることで意見をいただきたい。そのうえで、私たちが作成したパンフレットをデジタル媒体と紙媒体にし、七尾駅など観光客が利用する施設への設置を目標とする。

6.結論

観光パンフレットにおいて重視すべきところは見やすさだけではなく、パンフレットに載せる観光地、観光のコースが提案されていることなど多数ある。立場が違う沢山の人から意見をもらうことが、観光パンフレットの魅力を引き上げるだけでなく、私たちのパンフレット作成に対する姿勢をただしてくれる。観光パンフレットを一般に見れるようにしたわけではないため、観光客の増加など、私たちが作成したパンフレットが与える影響を調べるために、私たちが観光パンフレットを作った後の動きについて考え話し合う必要がある。この活動全てにおいて、より良いものにしようと改善に対して前向きな姿勢を維持し続けることが重要である。

7.参考文献・協力団体

能登の観光客数の推移

<https://www.sankei.com/article/20250611-KK6XD5BBUBPEJDPNUMVXXAKCJE/photo/IQB6EPWRBJMH3OJRPZLR2F6I2M/>

統計から見た石川の観光

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankou/documents/r6.pdf>

石川県観光公式サイト

<https://www.hot-ishikawa.jp/index.html>

七尾市公式サイト

<https://www.city.nanao.lg.jp/koryu-s/kanko/kanko/index.html>

七尾市役所

産業文化スポーツ部 交流推進課